
2024年度 第3四半期 業績 決算説明資料

先生と患者さんに喜ばれたい



2024年11月12日

■会社概要	3
■通信販売事業カタログ	4
2024年度 第3四半期 業績		
■業績概要	6
■2024年度 主なトピックス	8
■事業別売上高・総利益	10
■通信販売事業の売上高・総利益	11
■その他の事業の売上高・総利益	12
■販売費及び一般管理費	13
■貸借対照表	14

2024年度 通期業績予想

■通期業績予想	16
■年間配当(予想)	17

APPENDIX

1. ニッセンHDについて	19
2. サプライチェーン補助金の進捗について	20
3. 中期経営計画開示および決算説明会開催について	21

注記事項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

企業名	株式会社歯愛メディカル
本店所在地	石川県白山市鹿島町一号9番地1
代表者	代表取締役社長 清水 清人
設立	2000年1月
資本金	1,000万円
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:3540)
従業員数	2,099名(うち、臨時雇用者数 1,035名) (連結2024年9月末)
拠点	<p><ショールーム> 東京、大阪、岐阜羽島</p> <p><営業拠点> 札幌、仙台、東京、長野、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島</p> <p><その他拠点> Ci CAD/CAMセンター 3D Design Lab(石川)</p>
経営理念	先生とその患者さんに喜ばれたい。 更に社員、取引先に喜んでもらえる会社になりたい

当社は歯科医院や歯科技工所を中心に、各種医療機関への通信販売等を主たる業務としております。経営理念のもと、徹底した「お客様視点」を重視し、全国およそ6万軒の歯科医院に納品、歯科業界での歯ブラシ販売本数、また歯科通販売上高ではトップシェアとなっております。

カタログ通販

通信販売用カタログを年1回～数回発行

更に適宜、毎月1回以上のセール、DM等により、顧客ニーズに細かく対応しています



歯科医院向け



歯科技工所向け



介護・福祉施設向け



動物病院向け



病院・一般診療所向け



幼稚園・保育園向け



理美容・エステサロン向け



調剤薬局向け



歯科医院向け



クリニック向け

2024年度

第3四半期 業績

2024年度 第3四半期 業績概要

- 当第3四半期は、引き続き主力の通販事業、大型医療機器販売事業、CAD/CAM関連事業等において売上高を堅調に拡大、2024年7月1日付で子会社化したニッセンHDを連結したことの影響により、売上高、総利益および総利益率が拡大いたしました。ニッセンHD連結による影響額に関しては、7ページに記載しております。
- 新本社ロジスティクスセンター竣工(2023年10月2日)により同センターに係る減価償却が開始するとともに、同センター完全稼働までの移行期間は新旧センター並行稼働により販管費が増加しました。なお、同センターにおいては経済産業省よりサプライチェーン補助金の採択を受けており、来期(2025年12月期)に補助金額の確定を想定しております。

(単位:億円)	2023年 9月	売上 構成比	2024年 9月	売上 構成比	増減	
					金額	前年比
売上高	336.5	100.0%	452.5	100.0%	116.0	134.5%
総利益	90.0	26.7%	134.0	29.6%	44.1	149.0%
営業利益	25.5	7.6%	11.1	2.4%	▲14.4	43.5%
経常利益	27.5	8.2%	12.9	2.8%	▲14.7	46.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17.4	5.2%	53.4	11.8%	36.0	306.9%
1株当たり 四半期純利益	34.79円	—	106.75円			

2024年度 第3四半期 業績概要 ニッセンHD連結による影響額



- ニッセンHD連結による影響額は、下記のとおりとなります。
- 同社の取得時時価純資産が取得対価を上回ることにより、会計上の特別利益を計上しておりますが当第3四半期においては、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定を精査中であり、取得原価の配分が完了していないため、暫定値として計上しております。

(単位:億円)	2024年 6~8月	売上 構成比	主な要因
売上高	84.9	100.0%	衣料品関連は 季節性の影響を受けるため、 夏季は冬季に比べて 売上・利益ともに減少する 傾向にあります。
総利益	39.9	47.0%	
営業利益	▲3.0	—	
経常利益	▲2.2	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	44.5	52.5%	ニッセンHDを買収取得した際の 会計上の特別利益(暫定値)計上額 47.4億円

1月

令和6年能登半島地震が発生
新本社ロジスティクスセンター及び本社事務所等の建物及び設備への被害が多少発生した中、
一次避難所として地域の方へ開放
歯ブラシ、除菌ウエットティッシュ、洗口液等の必要物資を被災地に提供

また、被災地域の歯科医院様、福祉介護施設様等に対して義援金並びに飲料水、歯ブラシ、
除菌ウエットティッシュ等の支援物資を提供

2月

Ciデンタルショーin名古屋を開催

4月

Ciデンタルショーin大阪を開催



主要都市でデンタルショー開催
大型医療機器販売が好調に推移

5月

新本社ロジスティクスセンターについて、3月末に歯愛メディカル本体の移転が完了し、5月末に当社子
会社(株式会社デンタルフィット)を含めた完全移転が完了したことで、旧センターとの並行稼働は終了

6月

- ・韓国Imageworks社と資本業務提携契約を締結
歯科分野のDX化において、今後さらなる取り組み強化を予定
- ・Ciデンタルショーin福岡を開催

7月

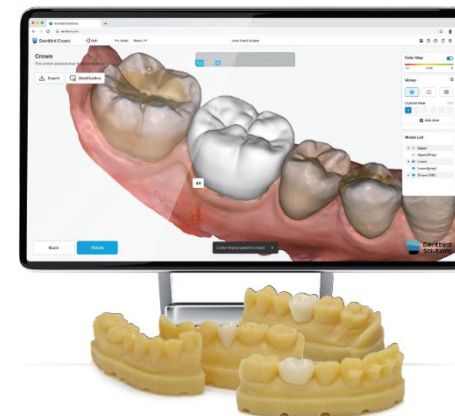
ニッセンHDの全株式を取得
通信販売事業の拡大に向けて取り組みを開始
(詳細は19ページ)

9月

Ciデンタルショーin東京を開催

10月

- ・Ciデンタルショーin神戸を開催
- ・福利厚生制度として企業型確定拠出年金(DC)を導入



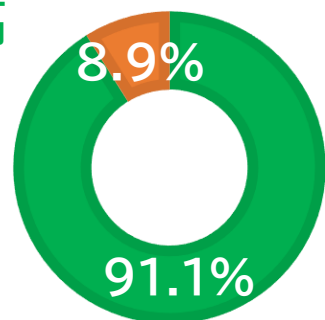
Imageworks社との取り組み

2024年度 第3四半期 事業別売上高・総利益

※ ニッセンHDの連結に伴い、現在セグメント情報の開示について検討中となります。つきましては、「事業別売上高・総利益」はニッセンHDを除いた数値(当第2四半期と同様の連結範囲)にて記載しております。

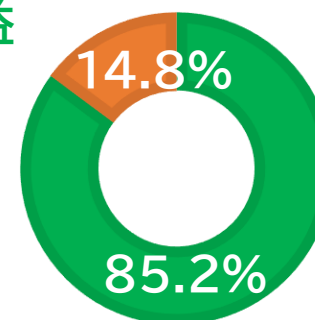
(単位:億円)		2023年 9月	2024年 9月	増減	
				金額	前年比
通信販売事業	売上高	312.8	334.8	+22.1	107.1%
	総利益	79.4	80.2	+0.8	101.0%
	通販事業の 総利益率	25.4%	24.0%	—	—
その他の事業	売上高	23.7	32.8	+9.1	138.2%
	総利益	10.5	13.9	+3.4	132.5%
	その他事業の 総利益率	44.4%	42.6%	—	—

売上高



■通信販売事業 ■その他事業

総利益



■通信販売事業 ■その他事業

通信販売事業

売上収益 +22.1億円

【+】・通販事業は全体的に堅調に推移。

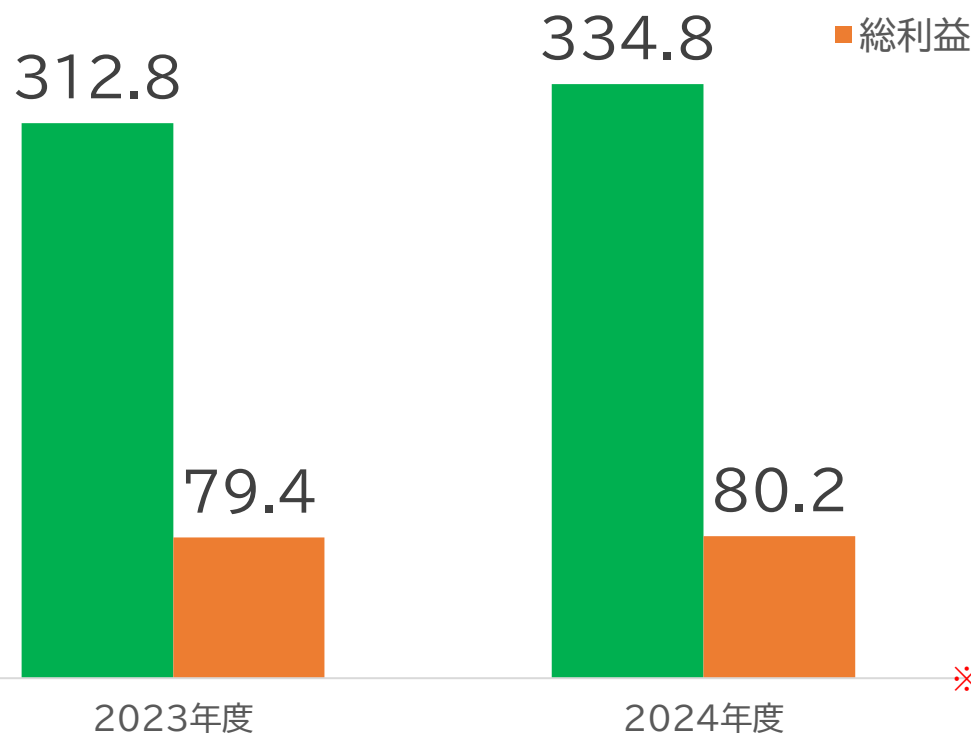
- ・2024年6月発刊の歯科総合カタログでの価格改定を実施。歯科以外も順次対応済。
- ・主要都市でのデンタルショー開催、新規開業による大型案件の増加等により、大型機器販売が引続き好調。
- ・新本社ロジスティクスセンターの能力増強により、これまで以上に販促を打つことが可能になった。

総利益 +0.8億円

【+】・歯科総合カタログでの価格改定。

【-】・円安、原材料高の影響により総利益率が減少。

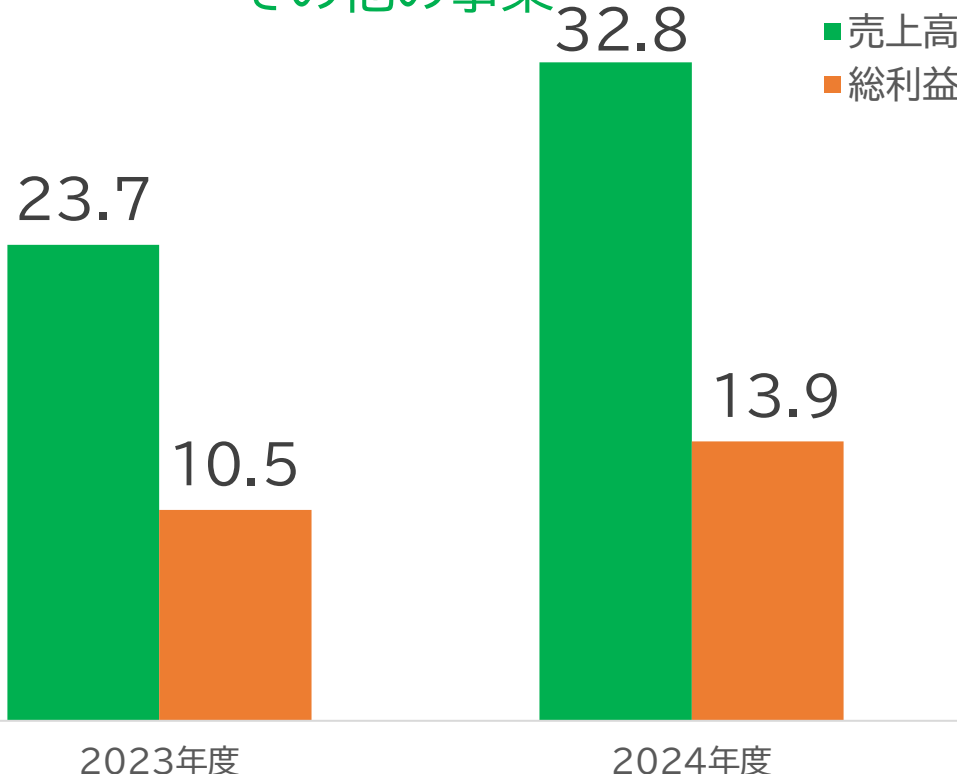
※ セグメント情報の開示について検討中となりますので、「各事業の売上高・総利益」はニッセンHDを除いた数値(当第2四半期と同様の連結範囲)にて記載しております。



(単位:億円)	2023年 9月	2024年 9月	増減	
			金額	前年比
歯科関連	269.4	286.4	+17.0	106.3%
歯科関連以外	43.4	48.5	+5.1	111.7%

2024年度 第3四半期 各事業の売上高・総利益

その他の事業



売上収益 +9.1億円

- 【+】・今年6月の保険収載に伴い、口腔内スキャナの販売台数が大幅に伸長。技工物のデジタル化に伴い、技工所向けのCADソフトウェアの販売も大きく伸びた。
- ・電力価格高騰が落ち着き、電力売上収益は増加。「Ciでんき」新規申込みも営業を強化し、申込数が増加。ニッセンのお客様からも見積依頼や申込み有。

総利益 +3.4億円

- 【+】・デジタルソリューションサービスが好調。クラウド型予約システム販売は、WEB問診機能等順次新サービスをリリース中。
- 【-】・電気取次(売上収益=総利益)以外の事業も大きく伸長したため、対前年比で総利益率が減少。

(単位:億円)	2023年 9月	2024年 9月	増減	
			金額	前年比
CAD/CAM関連事業 (技工用機器・システム販売、技工物製造)	22.1	29.8	+7.7	134.7%
電力小売取次	0.5	1.5	+1.0	290.2%
デジタル・ソリューション・サービス (HP作成代行サービス、クラウド型予約システム販売)	0.6	0.8	+0.2	136.3%
その他	0.5	0.6	+0.2	136.1%

2024年度 第3四半期 販売費 及び 一般管理費



(単位:億円)	2023年 9月	2024年 9月	うち ニッセンHD	増減		
				金額	前年比	主な要因
給与手当	11.4	19.1	6.9	+7.7	167.9%	事業企画部門等で人員強化の一方、新本社ロジスティクスセンターの設備自動化等に伴い倉庫人件費は減少
倉庫人件費	6.1	4.5	—	▲1.6	73.5%	
広告宣伝費	5.3	9.4	4.6	+4.1	177.6%	前第3四半期は新本社ロジスティクスセンター本格稼働を見据えセールに注力していたこともあり、当第3四半期は減少したものの、ニッセン連結により増加
荷造運賃発送費	16.3	24.3	6.5	+8.0	148.9%	売上増加に伴う出荷量の増加、新旧ロジスティクスセンター並行稼働に伴う荷造運賃の増加等
減価償却費 ※	3.8	15.7	0.1	+11.9	414.6%	新本社ロジスティクスセンター竣工により2023年9月より同センターに係る減価償却が開始
のれん償却	0.5	0.5	—	±0.0	100.0%	2022年度に連結した歯科技工子会社に係るのれん償却費
その他	21.1	49.5	24.8	+28.4	234.6%	ニッセン連結に伴うM&A関連費用の計上等を含む
合 計	64.5	122.9	42.9	+58.5	190.7%	ニッセン連結により全体的に増加
従業員数	481	1,064	575			
臨時雇用者数	608	1,035	576			

※経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の金額確定は来期中(2025年12月期)を想定しており、対象固定資産の圧縮記帳の影響(減価償却費の減額効果等)は、来期の業績に反映されることを想定しております(2024年度第3四半期は圧縮記帳前の固定資産価額を基礎として減価償却計算を行っております)。

貸借対照表

	2023年 12月末	2024年 9月末	増減		ニッセンHD 連結による 影響額
			金額	前年比	
(単位:億円)					
流動資産	178.5	283.8	+105.3	159.0%	108.7
固定資産	236.6	297.3	+60.7	125.7%	66.0
資産	415.1	581.1	+166.0	140.0%	174.6
流動負債	208.7	321.3	+112.6	154.0%	87.1
固定負債	5.0	8.1	+3.1	162.9%	3.1
純資産	201.4	251.6	+50.2	124.9%	—
負債・純資産	415.1	581.1	+166.0	140.0%	—
自己資本	200.6	250.6	+50.0	124.9%	—
自己資本比率	48.3%	43.1%	—	—	—
現預金	17.0	50.9	+33.9	299.4%	23.9
売掛債権・未収入金	66.9	76.2	+9.2	113.8%	24.5
棚卸資産	85.9	141.1	+55.2	164.3%	55.3
仕入債務	17.3	81.2	+63.9	470.3%	64.2
有利子負債	171.9	192.0	+20.0	111.7%	—

2024年度 通期業績予想

2024年度 通期 連結業績予想

(単位:億円)	2023年度 (実績)	2024年度 (予想)	増減		(参考) 年初公表計画
			金額	前年比	
売上高	456.3	675.5	+219.2	148.1%	500.0
営業利益	29.9	23.5	▲6.4	78.6%	35.3
経常利益	33.0	24.8	▲8.2	75.1%	36.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	20.8	61.3	+40.5	294.4%	24.5
経常利益率	7.2%	3.7%			7.2%
一株当たり当期純利益	41.65円	122.62円			48.95

※2024年11月7日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」から修正はございません。

※ニッセンHD新規連結による影響値を加味しております。

※補助金額の確定に伴う圧縮記帳は、当初2024年度下期に実施を見込んでおりましたが、年初公表計画では圧縮記帳後の固定資産価額を基礎として計算した減価償却費(約0.9億円/月)を織り込んでおりましたが、2025年度に実施と想定し、2024年度に計上する減価償却費は圧縮記帳前の固定資産価額を基礎として計算・計上(約1.7億円/月)しております。

	1株当たり連結純利益および配当金					
	(単位:円)	2022年度 (実績)	⇒	2023年度 (実績)	⇒	2024年度 (予想)
1株当たり連結純利益		252.16	⇒	208.27	⇒	122.62※
中間配当金		0.00	⇒	0.00	⇒	0.00
期末配当金		25.22	⇒	25.22	⇒	未定
年間配当金		25.22	⇒	25.22	⇒	未定

※当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
2022年度(実績)および2023年度(実績)については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

配当性向目標：連結純利益の10%

現時点では、配当予想額は未定です

APPENDIX

2024年7月1日付で完全子会社化したニッセンHDにつきまして、当第3四半期より連結の範囲に含めております。

》》》 アドバイザリー費用等について

販売費及び一般管理費の項目で、当第3四半期に一括計上しております。(概算99百万円)

》》》 会計上の特別利益について

買収取得時の会計上の特別利益を計上しておりますが、現在PPA（取得原価の配分）が進行中となりますので、当第3四半期においては暫定値として計上しております。

PPA(Purchase Price Allocation)とは・・・
「買収金額 - 純資産 = のれん」とするのではなく、無形資産を含めて資産・負債の時価評価を行い、買収対価を資産と負債に配分してのれんを算出する会計手続き

》》》 ニッセンとの取り組み進捗

- ・クロスセル(Ci商品をニッセンで販売し、ニッセン商品をCiで販売)を開始
- ・事業シナジー創出に向け、人材交流を実施中
- ・物流施設、コールセンター等の事業インフラの相互活用に向けて準備中



当社では、2023年度に竣工した新本社ロジスティクスセンターにおいて、経済産業省より「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の採択を受けております。

》》》「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」とは

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日本国内のサプライチェーンの脆弱化が顕在化したことから、国民が健康な生活を営む上で重要な製品等について、国内で生産拠点を整備しようとする場合にその設備導入等を支援するための補助金

》》》現在の状況

2024年10月23日に国内投資促進事業事務局による現地検査が終了。特段問題なく終了しましたが、「現地検査終了後から補助金額確定までには数か月を要する」旨の説明を受けております。



》》》連結業績に与える影響について

補助金額が確定した後、税務上の圧縮記帳の処理を行う予定です。確定後に計上される減価償却費は減額され、確定前に計上済みの減価償却費については、圧縮記帳前・後の差額が特別利益に計上される見込みです。当初の予定では2024年12月期下期中の確定を見込んでおりましたが、全体的なスケジュールの遅れにより来期中(2025年12月期)に補助金額が確定し、圧縮記帳の実施を想定しております。

▶▶▶ 中期経営計画の開示について

当社では、2024年3月5日付のプレスリリース「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況及び計画期間の変更について」において、2024年12月期末までに中期経営計画を策定し、開示予定であることを公表しております。

現在、2024年12月中の開示を予定しております。

▶▶▶ 2024年12月期第3四半期決算説明会について

中期経営計画開示と併せての開催を予定しております。

詳細につきましては、後日お知らせいたします。

先生と患者さんに喜ばれたい

Cjメディカル